

第 5 号様式（第 6 条関係）

早園小学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 2 回 早園小学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 8 年 8 月 2 8 日（金）		
開 催 時 間	午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 3 時		
開 催 場 所	早園小学校 図書室		
議 長	進行：協議以外【総務総括】、協議【会長】		
出 席 者	地域委員全員（6 名） 学校教職員（16 名）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0 人
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 前回会議のふり返し 2. 地域とともにある学校づくりについて ～学校から地域、地域から学校への関わり方等～ ・教員を交えたグループでの熟議 ・全体共有 3. 報告、情報交換等 4. その他			
【主な意見・決定事項など】 議題 2 については全体を 3 グループに分けて熟議を行った。 熟議内容は以下のとおり（添付画像参照のこと）。 〔熟議のテーマ：「地域と学校が共に考える授業づくり」〕 <低学年グループ> ○地域協力者へ依頼したいこと ・図工や家庭科などの授業の実技作業行程の見守り ・生活科の郷土料理や昔あそびなど ・クラブ活動 ・性教育 など ↓ ↓ ↓ 単発での関わりではなく長く関わっていくことで地域の人と顔見知りになることができる ○地域の防災訓練などに参加し地域活動を知る ↓ ↓ ↓ 校内除草作業など地域との協力で行なっていくことができるようになる。			

< 中学年グループ >

○学校教育、家庭教育、社会教育が同じベクトルで取り組んでいくことが大切

○家庭教育のきっかけ作りとして保護者に学校教育に参加してもらうの
はどうか

↓ ↓ ↓

- ・ 保護者、地域が教科授業へ参画
- ・ 親子で協力してできる内容の授業参観
(保護者が参加できない児童への配慮は必要)
- ・ クラブ活動へゲストティーチャーとして参画

↓ ↓ ↓

児童と地域の大人が教え教わることで相互理解のための交流を行う。

例：昭和クラブ（昔あそび・郷土料理 など）

令和クラブ（タブレット等の ICT 活用等。リテラシー学習含む）

< 高学年グループ >

○児童が保護者や先生以外の大人との関わりを持てる機会を作る

○教科授業の中で地域協力者との関わりをもてるように年度初めに計画
できるとよい。

○ふらっと立ち寄って関われる寺子屋のような学習会の開催

↓ ↓ ↓

印刷室に掲示してあるコミュニケーション・ボードを十分に活用し、
地域とのつながりをつくる。

【 ま と め 】

今回はたくさんの意見を出し合えたことがとても有意義であった。

すぐに実現できることは僅かかもしれないが、少しずつでも共に歩みを
進めていけたらよい。

【 配 付 資 料 】

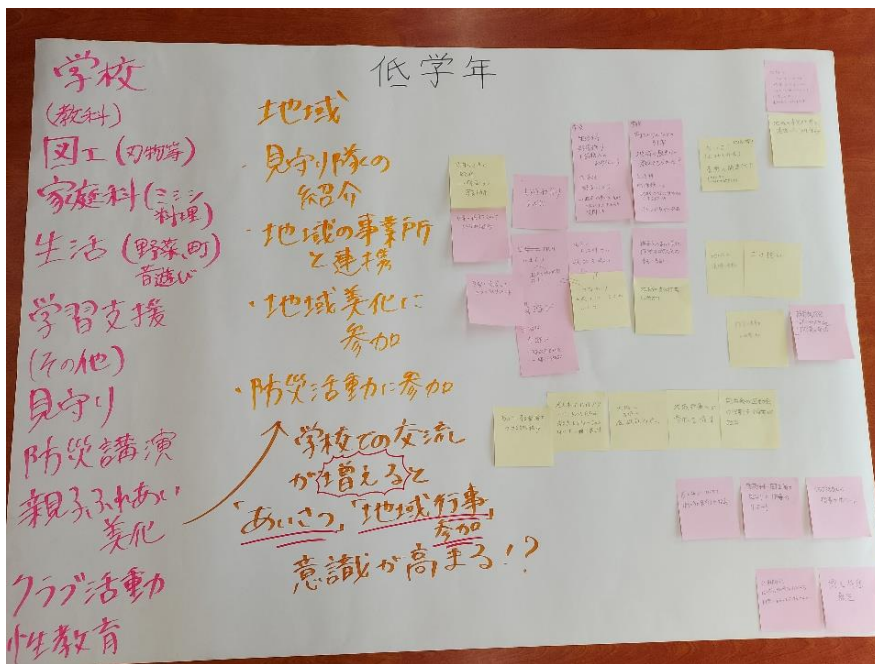
「早園小学校学校運営協議会の取組み」一覧

次回開催予定

第 3 回学校運営協議会

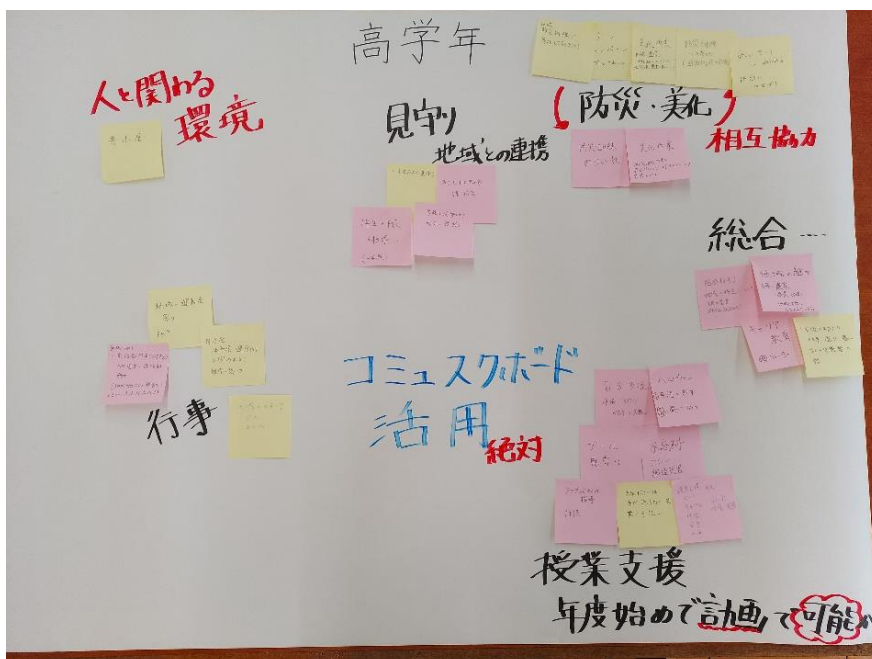
令和 8 年 1 0 月 2 6 日(月)

1 5 時 4 5 分～1 6 時 4 5 分



< 低学年部会 >

< 中学年部会 >



< 高学年部会 >